

景観を重視した公園施設整備工事

(社)静岡県土木施工管理技士会
株式会社 橋本組
土木部 主任 猪股 勇樹
Yuuki Inomata

1.はじめに

前年度工事において公園の主部分(中央部)(写真-1)の工事が完了し、一般者への供用が開始されていました。
今年度の工事では、前年度工事の両脇部分(写真-1)の未施工部分の工事となっています。
海に面した公園で、富士山がとても綺麗に見る事もでき、アクアス焼津・深層水施設等も近くにあり、近隣・遠方、大人・子供問わず訪れる公園です。



写真-1

工事概要

工事名 : 平成20年度[第20-V1430-01号]焼津漁港 漁港環境整備 第6地区施設整備工事

発注者 : 静岡県焼津漁港管理事務所 工事課

元請け : 株式会社 橋本組

工事場所 : 静岡県 焼津市 鯛ヶ島地内

工期 : 平成20年 10月25日 ~ 平成21年 3月25日

工事内容 :

給水設備工	雨水排水設備工
園路広場整備工	デッキ工事
サービス施設整備工	管理施設整備工
建設施設組立設置工	展望台工事
漁礁工	

2.現場における問題点及び課題

今回の工事では、
供用開始されている公園ということもあり、一般者(釣り客及び子供)の工事区域内への侵入
岸壁沿いでの作業による作業員の海への転落
完成式典を行うにあたり、舗装工事・電気工事・植栽工事・駐車場及び周辺道路工事との併用工事による
工期内での完成
遊具のない景観重視の公園
等の問題点及び課題がありました。

3.対応策・工夫について

まず、の第三者の工事区域内への侵入に対して、単管バリケードで工事区域を明確にしていたが、立入り禁止の工事看板設置を行うにあたり、海沿いという事もあり、風がとても強く、強風により飛散すると考えられました。そこで、単管バリケードへ設置できる安全看板を取り付ける事にしました。子供にもわかりやすいようにひらがなによる物にしました。(写真-2)



写真-2

次に、の作業員の海への転落に対して、岸壁沿いへの単管バリケードの設置を行い、材料の落下を防ぐ為に巾木を設置しました。(写真-3)

そして、作業員及び第三者の海への転落が起きてしまった場合を考慮し、救命浮環を作業場付近に設置し、緊急事態への対策を行いました。



写真-3

次に、の他業者との併用作業に対して、舗装工事・電気工事・植栽工事・周辺道路工事すべてが同じ工期内での完成だった為、まず月一回の発注者を交えての工程会議を実施し、毎週各業者の担当者との密な工程調整による他業者との混在作業をなくし、工事箇所・工程を明確にし工期短縮・安全作業場所の確保を行いました。

最後にの遊具がなく景観を重視した公園作りに対して、発注者及び設計者の意図を確認し、海が見え大人から子供・他県からの来場者・バリアフリーを考えた公園を元に工事を進めました。近隣の方々の散歩コースとなる公園の為、園路の歩きやすさ・バリアフリーを考えた園路の勾配に重点を置きました。

当初図面には、園路及び構造物の取合い部分しか基準高の表示がなかった為、園路一つずつの縦断面図平面線形を作成し、急な勾配をつけず・滑らかな曲線を描くように設計を行いました。

急な登り勾配をなくすため、パーチカル曲線を取り入れ施工にわかりやすいように細かな丁張を出すことにより園路の線形を明確にし急な登り勾配をなくす事ができました。

4.おわりに

今回の工事を終えて、通常では遊具があり子供を中心とした公園が主にありますが、今回のような遊具がなく、大人からも好かれるような景観を重視し海との触れ合いを楽しむ事のできる公園という発注者及び設計者の意図に私たち施工業者も重点を置いて施工できた事により利用者に笑顔のあふれる公園ができたと思います。

一連の工事を振り返ってみても、第三者による工事区域内への侵入もなく、他業者との密な打合せや安全対策により無事故・無災害での完成ができよかったと思います。

遊具等の破損による事故が多くなっている時代ですのでこれからの公園づくりでは今回のような景観を重視した公園が増えてくるのかもしれませんが。



完成写真